

### これまでの市民参加事例

#### 3 これまでの市民参加

**分治** ところで、これまで市民参加ってのはやってなかったんですかね。

**隠居** もちろんこれまででもいろんな形で市民参加は行われていたけど、決まったものではなかったんだよ。今回の条例制定は、間違いなく市民参加がされなければならないという決まりが

これまでも市民参加は実施されていたんだよ



ご隠居さん

#### 市総合計画

事業所アンケート調査(2,800事業所を対象)、市民意識調査(2,000人を対象)公募委員・有識者などで構成されるまちづくり懇話会(全5回)、パブリックコメントなどを行い、市民のさまざまな意見を参考に市総合計画を策定しました。

#### 自治基本条例

市民や有識者が市民参加型の市政運営のあり方について検討する「まちづくり基本条例等検討懇話会」を設置しました。また、講演やセミナー、パブリックコメントなども行い、市民のさまざまな意見を参考に自治基本条例を策定しました。

条例が出来上がって、これからはもっと市民参加の機会が増えるんだね!!



分治さん

#### 4 市民自治のまちづくり

**分治** ところで、この条例ができて、これからの苦小牧はどうなるんですかかね。

**隠居** この市民参加条例が施行されることによって、苦小牧は「市民自治のまちづくり」へさらに一歩踏み出すことになるんだよ。

**隠居** そうだね。ただ、条例ができたからと言って、最初から市民参加の理想の形になった訳ではないんだよ。まだ行動を起こすきっかけで、スタート地点に立った訳だ。

**分治** そうか、市民がまちのことを考えたり、参加してみようと思う仕組みづくりがこれからは必要なんだね。この市民参加条例をきっかけにみんなが協力して、俺たちのまちをつくっていきたいですね。

市民参加条例は「市民自治のまちづくり」へのスタートだ!!



#### ホームページの開設

市民参加条例の施行に合わせて、市民参加に関する情報を集めたサイトを市ホームページ上に開設します。(URLは下記参照)実施中のパブリックコメントや募集中の議会等の委員、その他の市民参加事業についてなど、市民参加に関する情報が探しやすいです。



市民参加に関する情報が探しやすいです。情報共有、意見交換の場として、ぜひご利用ください。

URLはこちら

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/>

### 市民自治推進会議委員の意見



星野 克紀さん  
Hoshino Katsunori

市民参加を息長く続けていくためには、熱心な方、それなりの方、無関心な方など、意識が異なる対象ごとにアプローチの方法を変えていくべきです。また、市民参加専門の窓口を設置し、それぞれの部署で行っている仕組みと予算を一カ所に集約することで、新たな予算と手法も生み出せると思います。



佐久間 賢祐さん  
Sakuma Kenyu

行政が市民の声を吸い上げるといって素晴らしい制度ができ、日本の民主政治も成熟しつつあると感じました。今後は、行政がこの制度をどれだけ市民生活の中に定着させることができるのか、本気度が問われてきます。行政側がうまく市民に問題提起できると、市民参加が進むのではないかと思います。



溝江 敏勝さん  
Mizoe Toshikatsu

話し合う習慣を市民の中に根付かせ、問題意識を持つことの重要性を訴えていく必要があると思います。行政が何かをしてくれるという考え方ではなく、市民として何かまちづくりに貢献できることはできないか、と自ら考えることができるような市民教育が、今後必要になってくるのではないのでしょうか。



斎藤 雪江さん  
Saito Yukie

市民に向けて情報発信する際は、幅広く行う必要があると思います。これからは、インターネットが中心になるので、いろんな方々に情報が届くよう工夫していくべきです。また、市民参加条例のPRをする際に、多くの市民の目が触れやすい場所に漫画形式で掲示すると、興味を持って見てくれると思います。



木村 碩明さん  
Kimura Hiroaki

まちづくりに熱心な人たちのアイデアが数多く眠っていると思います。それらを活かすためにも、まちづくりに関することであれば何でも書き込めるノートを、市民の目の触れやすい場所に設置してはどうでしょうか。また、その中に書き込まれたアイデアを広報紙の中で紹介しても良いと思います。



藤田 健次郎さん  
Fujita Kenjiro

市民として何かをしなればいけないという意識と、そのためにどうすればよいかという知識の2つを持つ必要があると思います。特に、未来を担う子どもたちに対して発信していくべきです。例えば、学校の授業の中で、苦小牧のために何ができるかについて考える時間を作ることも効果的だと思います。



福井 洋幸さん  
Fukui Hiroyuki

やる気とアイデアを持っている市民の方はたくさんいると思います。それを現実させることが困難なのが現状です。今後は、先頭に立って引っ張ってくれるリーダーを育成する必要があると思います。市民参加というすばらしい仕組みが出来上がったので、次は人材育成に取り組むべきではないでしょうか。



小林 裕子さん  
Kobayashi Hiroko

市民参加条例は、市民の意見を具体的に吸い上げる大変重要な枠組みにならないようにできるだけ多くの人に広めていく必要があります。子どもたちでも興味を持って見れる「さんかく長屋瓦版」をうまく活用して、漫画風にアレンジするなど、工夫しながら配布するの面白そうです。



松尾 省勝さん  
Matsuo Masakatsu

市民参加条例をどう根付かせ、どうPRしていくかが重要です。看板などを作って、デジタルで訴えていくことが効果的だと思います。看板作成は、業者任せではなく、市民を募ってボランティアで行うと、徐々に手を上げてくれる方が増えてくるはず。特に若い人たちに浸透させるためです。

4月1日から市民参加条例を施行するにあたり、条例を今後の市政にどう取り込んでいくかについて、昨年12月13日に、市民自治推進会議委員と市長の対談を行いました。委員のみなさんから意見をいただきましたので紹介します。

市民自治推進会議  
自治基本条例の運用状況を市民の目で見守り、市民自治を育てるために活動しています。